

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 244 事業名 外出支援事業（福祉タクシー、バス、公衆浴場利用助成）

【事業基本情報】

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	2	高齢者・障害者支援の充実
施策	2	障害のある人の自立と社会参加の推進
基本方針	1	社会活動への参加促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		民生費
	項		社会福祉費
	目		社会事業費
	大事業		社会事業
	事項		外出支援事業

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	H5	～
事業実施の根拠法令	障害者基本法第6条、第24条	
関連個別計画	和歌山市障害者計画	
担当課・担当課長 (Tel)	障害者支援課	松村 維人 (435-1060)
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	障がい者福祉の推進			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容			
	身体障害者手帳及び療育手帳所持者（一部要件あり）を対象にバスカード、公衆浴場回数券、タクシー券を配布することにより、外出の促進を図り、福祉の向上に資する。	身体障害者手帳及び療育手帳所持者を対象に、バスカード、公衆浴場回数券、タクシー券（身体1、2級、療育A1、A2のみ）を配布する。バスカード、公衆浴場回数券は、1種の手帳所持者については介護人も配布。			
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	実交付枚（冊）数 ・タクシー 6233 ・バス 16530 ・公衆浴場 16112 延利用人数 ・タクシー 55786 ・バス 121916 ・公衆浴場 33579	実交付枚（冊）数 ・タクシー ・バス ・公衆浴場 延利用人数 ・タクシー ・バス ・公衆浴場	実交付枚（冊）数 ・タクシー ・バス ・公衆浴場 延利用人数 ・タクシー ・バス ・公衆浴場	実交付枚（冊）数 ・タクシー ・バス ・公衆浴場 延利用人数 ・タクシー ・バス ・公衆浴場	実交付枚（冊）数 ・タクシー ・バス ・公衆浴場 延利用人数 ・タクシー ・バス ・公衆浴場

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	60,861	57,430	59,301		59,301		59,301		59,301	
	伸び率 (%)	-	-	-2.6%		0.0%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	4,603	4,603	4,603		4,603		4,603		4,603
		非常勤職員	0	0	0		0		0		0
		小計	4,603	4,603	4,603		4,603		4,603		4,603
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	その他										
	一般財源（税等）	60,861	57,430	59,301		59,301		59,301		59,301	
所要人数	常勤職員	0.62	0.62	0.62		0.62		0.62		0.62	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00		0.00		0		0	
主な予算内訳	タクシー委託料 29,310 公衆浴場利用交付金 9,751 バス利用交付金 15,856										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	実交付枚数（冊数）				年度目標値	42,000	42,000	42,000	42,000
					実績値	38,875			
	単位	枚（冊）	全体目標値	42,000	全体目標達成度	92.6%	年度別達成度	92.6%	
	延交付対象者数				年度目標値				
					実績値	69,730			
単位	人	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
成果指標	交付率				年度目標値	60	60	60	60
					実績値	56			
	単位	%	全体目標値	60	全体目標達成度	93.3%	年度別達成度	93.3%	
	支援人数（延利用人数）				年度目標値	240,000	240,000	240,000	240,000
					実績値	211,281			
単位	人	全体目標値	240,000	全体目標達成度	88.0%	年度別達成度	88.0%		

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>障害者からは、タクシー券等の枚数増加等の要望はあるが、市単独事業でもあり、当市の財政状況等を考慮すると現状維持が妥当と考える。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>障害者団体からの要望もあり、タクシー券の枚数を増やす等の改善を行いたいですが、予算が限られていることから、その予算内で障害者の方々のニーズに少しでも応えられるよう、努力工夫していきたい。</p>